



2022年3月期 決算説明会

1. 当期決算の概要(連結)
2. 次期業績見通し
3. 中期経営計画の進捗状況

2022年5月17日

日本光電工業株式会社

証券コード : 6849

<https://www.nihonkohden.co.jp>

Fighting Disease with Electronics

 NIHON KOHDEN

1

当期決算の概要(連結)

1) 当期の決算概要

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	前期 2021/3	当期 2022/3			
		期初予想	2月2日修正	実績	対前期 増減率(%)
売上高	199,727	185,500	203,000	205,129	2.7
国内売上高	137,274	128,000	136,500	136,321	△ 0.7
海外売上高	62,452	57,500	66,500	68,807	10.2
売上総利益 (売上総利益率)	102,233 51.2%	92,100 49.6%	106,500 52.5%	109,085 53.2%	6.7
営業利益 (営業利益率)	27,094 13.6%	16,000 8.6%	28,500 14.0%	30,992 15.1%	14.4
経常利益	28,374	16,000	29,500	34,563	21.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	18,243	11,000	20,000	23,435	28.5

← 為替影響除く: +5%

← 自社品
売上高比率 2021/3 2022/3
69.5% 72.7%

← 為替差益: 2021/3 2022/3
472百万円 3,175百万円

平均レート	(2021/3)	(2022/3)	(2022/3)	(2022/3)
1米ドル	105.9円	105円	111円	111.3円
1ユーロ	123.1円	125円	131円	130.6円

2) 当期の取り組み

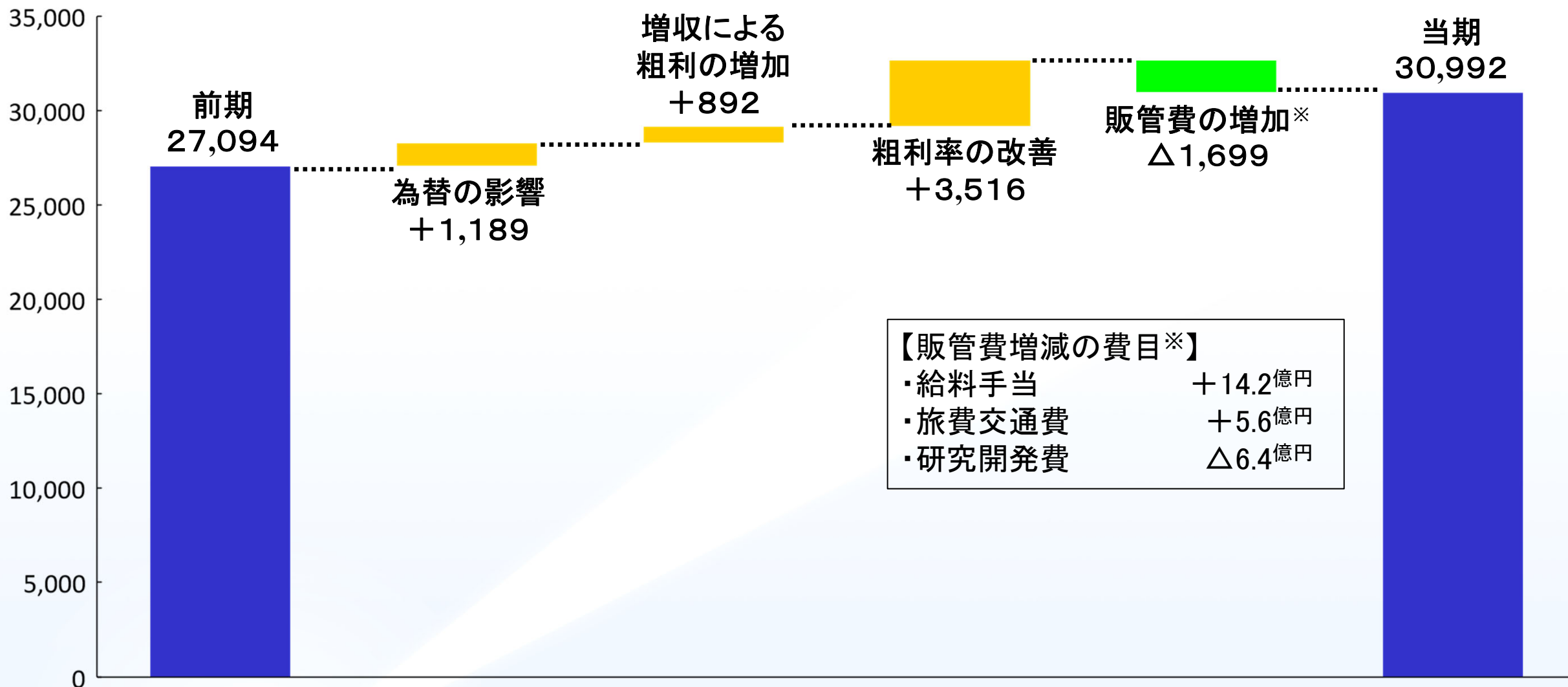
- ✓ 国内外で、前期に低調だった一部製品の需要が回復、消耗品・サービス事業の強化が奏功
- ✓ 国内外で、COVID-19関連需要が期初の想定を上回って推移
- ✓ 部品供給のひっ迫に対応するためSCM改革を推進し、製品供給を継続

前期に続き、過去最高の売上高、利益を更新

	20/3期実績	21/3期実績		22/3期実績	24/3期目標値
海外売上高比率	27.4%	31.3%	✓ 米国生体情報モニタリング事業、インドが売上をけん引	33.5%	32.0%
消耗品・サービス売上高比率	45.5%	43.0%	✓ 生体情報モニタ等の設置台数が拡大し、消耗品の需要が増加	44.2%	48%以上
売上総利益率	48.3%	51.2%	✓ 海外売上高比率の上昇 ✓ 国内で自社品売上が伸長	53.2%	50%以上
(ご参考) 自社品売上高比率	65.6%	69.5%		72.7%	

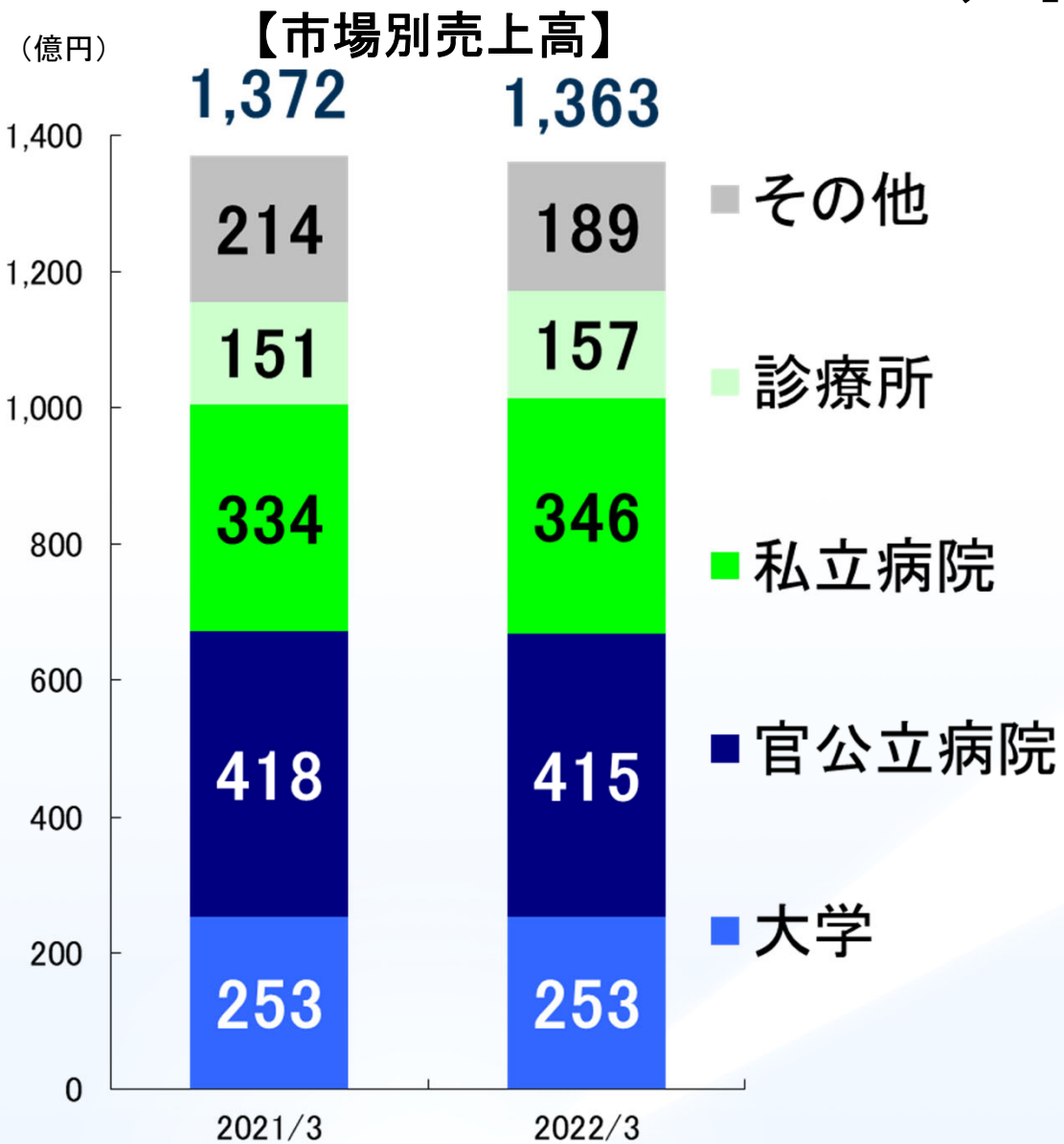
3) 営業利益増減の要因分析

(単位:百万円)

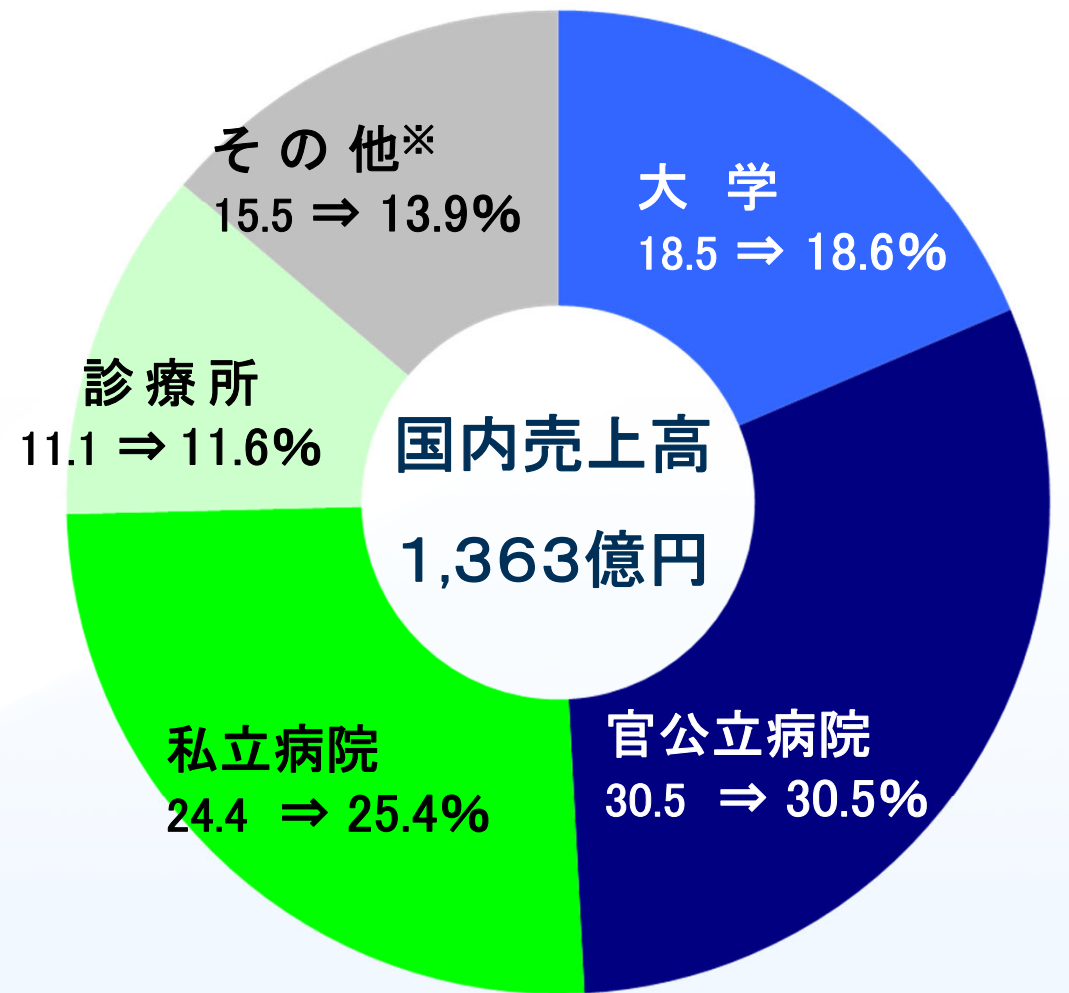


※「販管費の増加」は為替の影響を除いた営業利益増減要因としての金額、
「販管費増減の費目」は円建ての販売費及び一般管理費のうち主な増減金額を表しています。

4) 国内売上高



市場別売上構成比
(2021/3⇒2022/3)



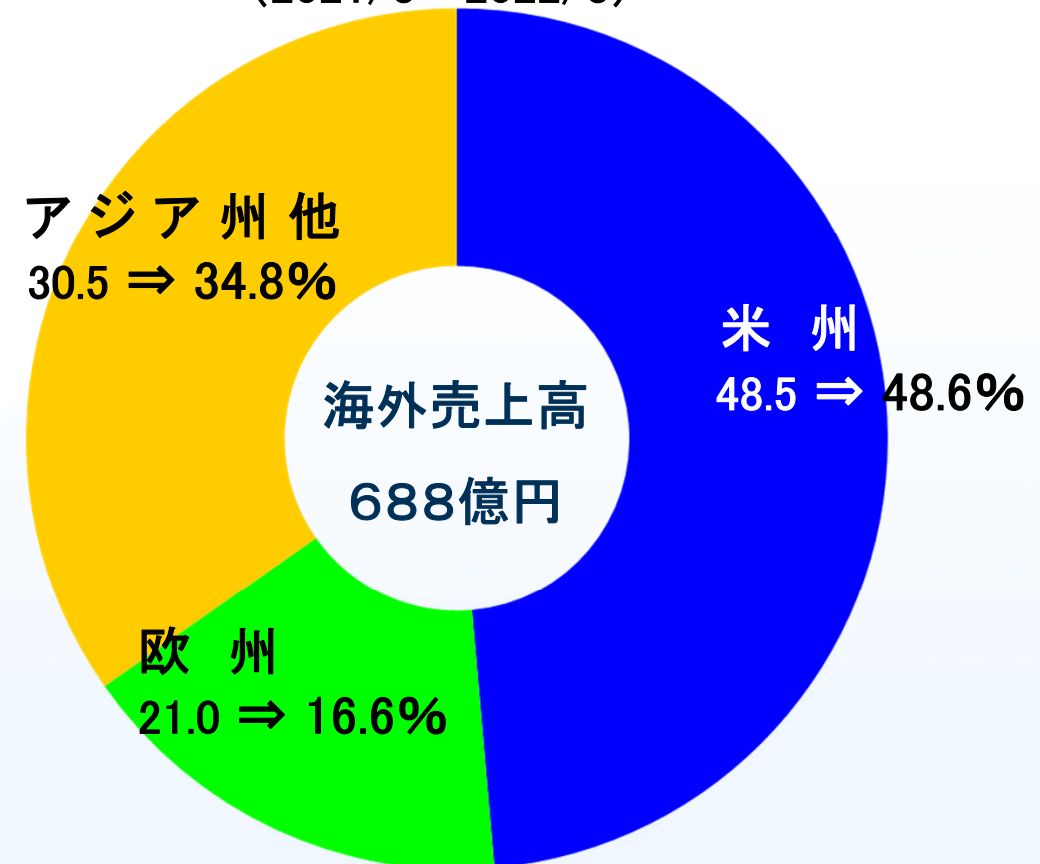
※その他には、研究所、動物病院、消防など行政機関のほか、AED納入先である学校や民間企業を含みます。

5) 海外売上高

海外売上高比率

2021/3	2022/3
31.3%	33.5%

地域別構成比 (2021/3⇒2022/3)



【海外売上高】

前期比+10%
(為替影響除く: +5%)

■ アジア州他

前期比+26%
(為替影響除く: +18%)

■ 欧州

前期比△13%
(為替影響除く: △18%)

■ 米州

前期比+10%
(為替影響除く: +5%)

【地域別売上高】

688

624

190

131

302

2021/3

239

114

334

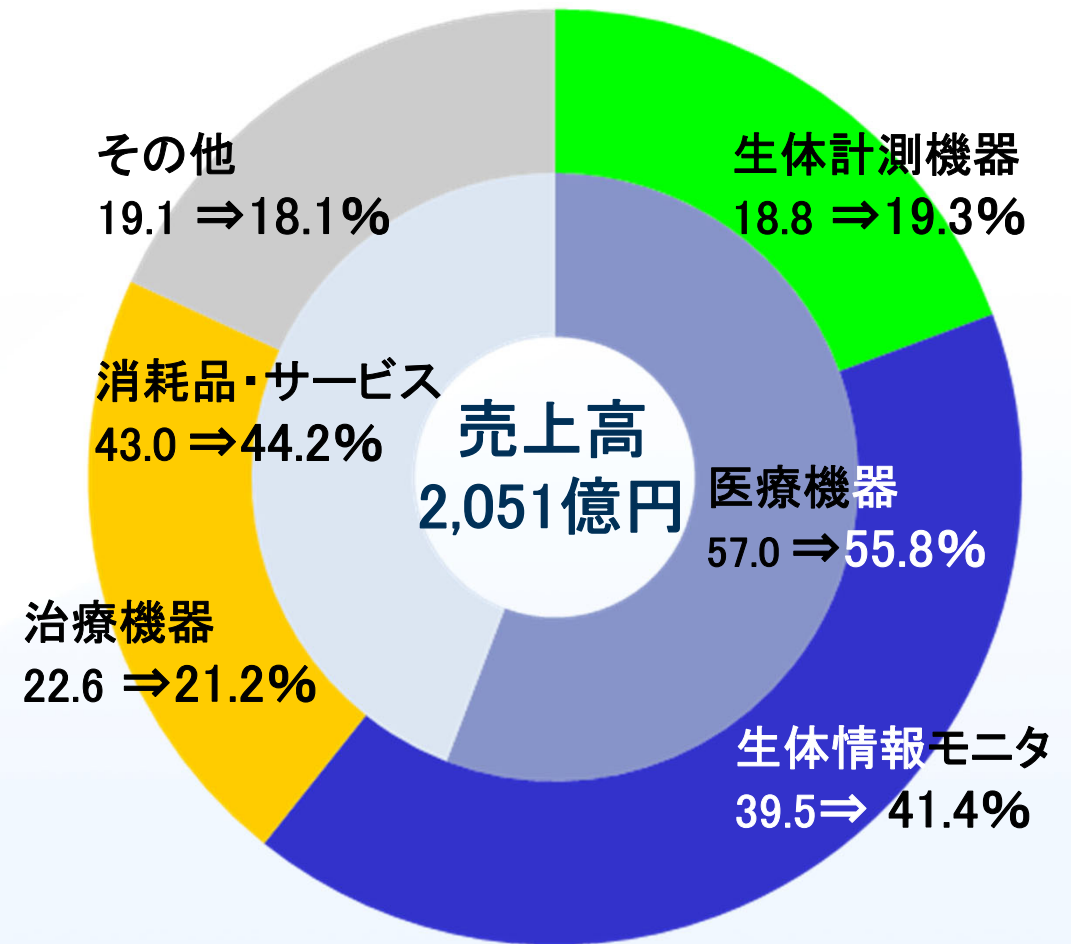
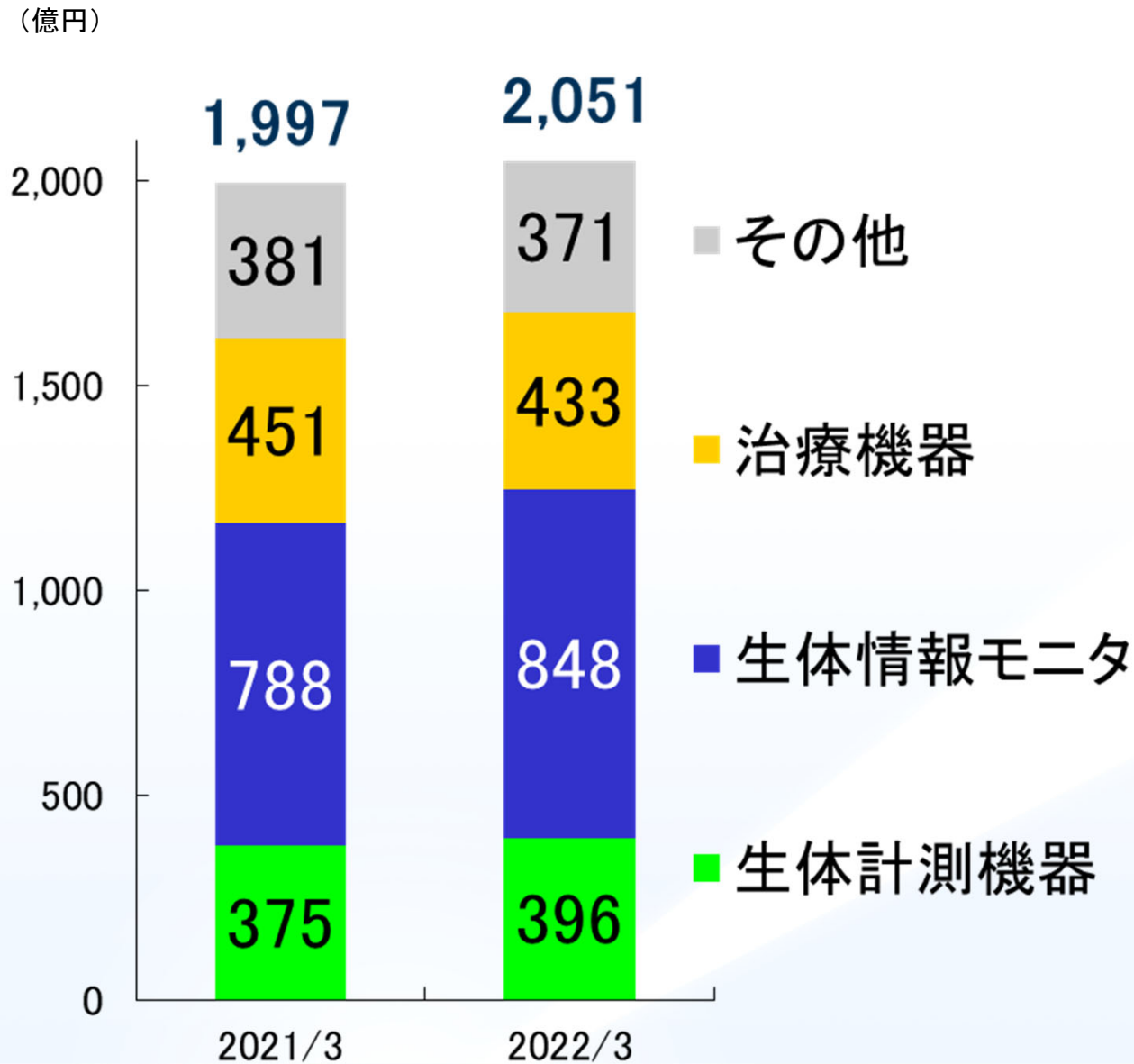
2022/3

(億円)

6) 商品群別売上高

商品群別売上構成比

(2021/3⇒2022/3)



6.1) 生体計測機器

	前期 2021/3	当期 2022/3	増減率(%)
脳神経系群	6,546	7,257	10.9
心電計群	6,542	6,927	5.9
心臓カテーテル検査装置群	14,676	13,451	△ 8.3
その他(診断情報システム等)※	9,820	12,044	22.6
生体計測機器合計	37,586	39,681	5.6
うち国内売上高	29,555	30,478	3.1
うち海外売上高	8,030	9,202	14.6

(単位:百万円)

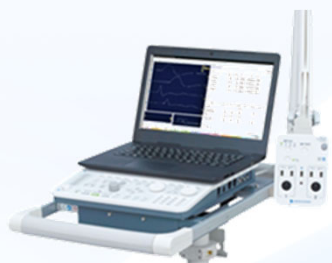
診断情報システムが二桁成長、心電計群も好調に推移。脳神経系群は前期並み。心臓カテーテル検査装置群は現地仕入品の減収影響を除くと二桁成長。

脳神経系群が全ての地域で需要が回復し二桁成長。心電計群もアジア州他、中南米で増収。

※その他には、診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。



脳波計
EEG-1290



筋電図・誘発電位
検査装置 MEB-9600



心電計
ECG-3350



ホルター心電計
RAC-5000



臨床用ポリグラフ
RMC-5000



医療介護ネットワーク
システム LAV-1000



筋弛緩 EMG電極
NM-34シリーズ

消耗品関連

6.2) 生体情報モニタ

	前期 2021/3	当期 2022/3	増減率(%)
生体情報モニタ合計	78,818	84,860	7.7
うち国内売上高	44,116	48,241	9.4
うち海外売上高	34,701	36,618	5.5

(単位:百万円)

送信機、医用テレメータが大幅増収、
臨床情報システムも二桁成長。

センサ類など消耗品も好調に推移。

米国、アジア州他での売上が二桁成長。
欧州、中南米は前期の需要増加の反動
により減収。



CSM-1501



CSM-1502



CSM-1701



CSM-1702



スポットチェックモニタ
SVM-7200



医用テレメータ
WEP-1200

NEW!



セントラルモニタ
CNS-2101



esCCO対応
SpO₂プローブ



cap-ONE
マスク



心電図
電極

消耗品関連

6.3) 治療機器

(単位: 百万円)

	前期 2021/3	当期 2022/3	増減率(%)
医科向け除細動器	7,647	9,012	17.9
A E D	14,841	16,750	12.9
ペースメーカー・ICD	2,656	2,498	△ 5.9
人工呼吸器	13,950	8,560	△ 38.6
その他	6,030	6,567	8.9
治療機器合計	45,126	43,388	△ 3.9
うち国内売上高	30,294	27,069	△ 10.6
うち海外売上高	14,831	16,318	10.0

【国内】医療機関での更新需要が堅調。
【海外】アジア州他、中南米で大幅増収。

【国内】一部出荷の期ずれもあり減収。
【海外】全ての地域で需要が回復。

【国内】【海外】前期の需要増加の反動により減収。インド、東南アジアでは需要が増加。

(参考) AED 販売台数	87,900台	100,000台	13.8
うち国内販売台数	56,900台	51,000台	△ 10.4



除細動器
EMS-1052



AED
AED-M100



NEW!
オートショック
AED-3250



心臓ペースメーカー
Zenex MRI



人工呼吸器
NKV-550



人工呼吸器
NKV-330



人工呼吸器
HAMILTON-C6

6.4) その他

(単位:百万円)

	前期 2021/3	当期 2022/3	増減率(%)
検体検査装置	9,331	10,594	13.5
画像診断装置、 研究用機器他 [※]	28,865	26,604	△ 7.8
その他合計	38,196	37,198	△ 2.6
うち国内売上高	33,307	30,531	△ 8.3
うち海外売上高	4,888	6,667	36.4

自社品販売の注力により、現地仕入品が大幅減収。医療機器の設置工事・保守サービスは好調、検体検査装置は堅調に推移。

全ての地域で血球計数器・試薬の需要が回復し、大幅増収。特にインドで新製品効果もあり設置台数が拡大。

※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。

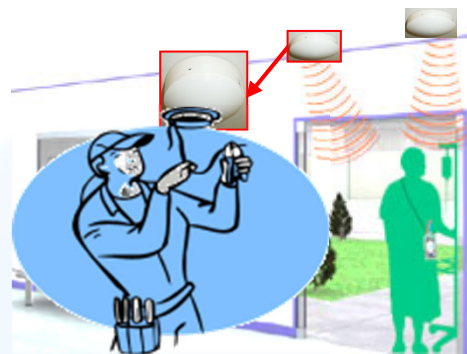
NEW!



全自動血球計数器
MEK-9200



全自動血球計数・
赤血球沈降速度測定装置
MEK-1305



設置工事・保守サービス

[参考] 地域別商品群別売上高・対前期増減率

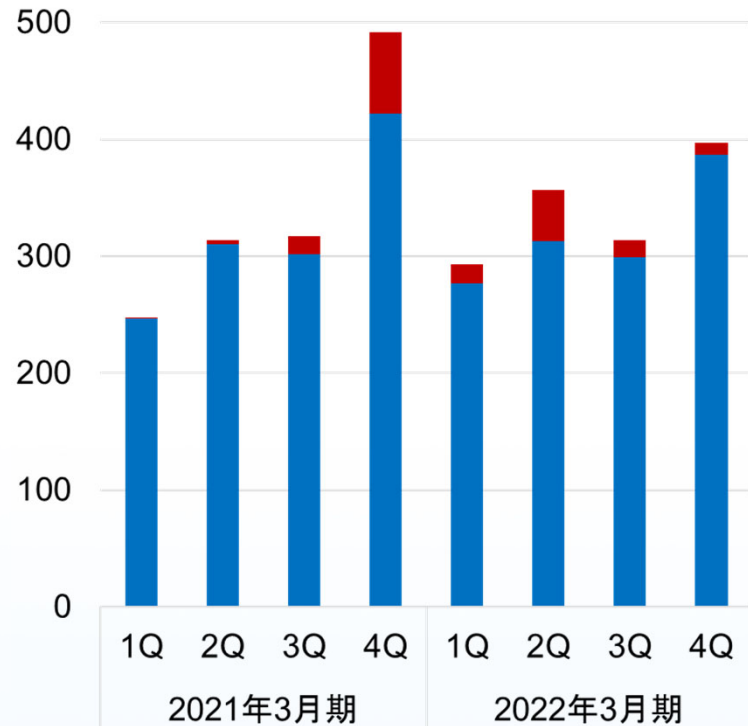
(単位:億円、単位未満切捨て)

	合計	国内	海外			
			計	米州	欧州	アジア州他
生体計測機器	396 (+6%)	304 (+3%)	92 (+15%)	37 (+11%)	16 (+16%)	38 (+18%)
生体情報モニタ	848 (+8%)	482 (+9%)	366 (+6%)	234 (+13%)	42 (△32%)	90 (+14%)
治療機器	433 (△4%)	270 (△11%)	163 (+10%)	49 (△7%)	45 (△3%)	68 (+41%)
その他	371 (△3%)	305 (△8%)	66 (+36%)	13 (+47%)	11 (+20%)	41 (+38%)
売上高合計	2,051 (+3%)	1,363 (△1%)	688 (+10%)	334 (+10%)	114 (△13%)	239 (+26%)

[参考] COVID-19関連需要(概算)

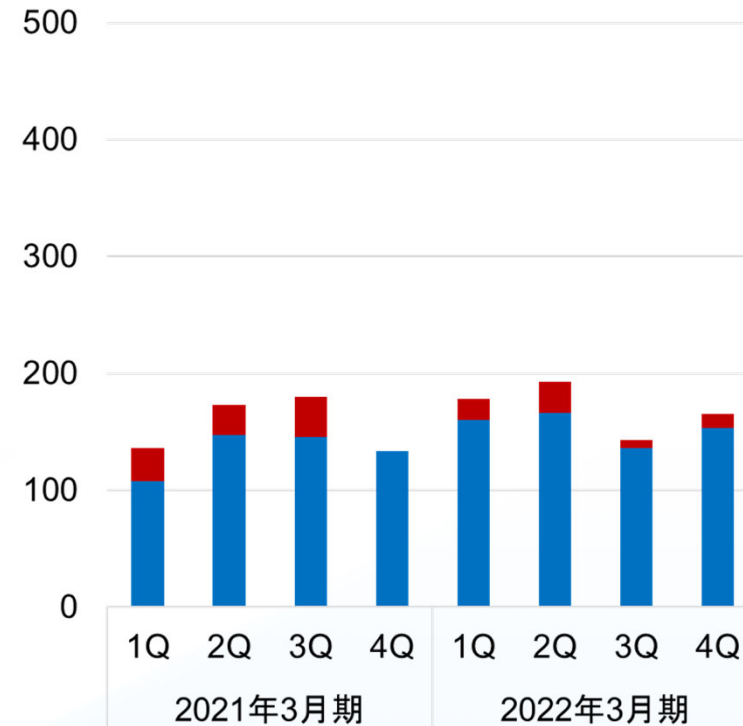
(億円)

【国内売上高】



(億円)

【海外売上高】



■ COVID-19関連
■ COVID-19関連以外

2022年3月期 COVID-19関連需要	国内		海外	
		対前期増減		対前期増減
生体情報モニタリング	60億円程度	+20億円程度	35億円程度	△10億円程度
人工呼吸器	25億円程度	△25億円程度	15億円程度	△25億円程度
除細動器	—	—	10億円程度	+5億円程度
合計	85億円程度	△5億円程度	60億円程度	△30億円程度

7) 財政状態

(単位:百万円)

	前期末 2021/3	当期末 2022/3	増減額		前期末 2021/3	当期末 2022/3	増減額
流動資産	156,140	171,875	15,735	流動負債	50,608	50,804	196
たな卸資産	38,887	48,367	9,479	有利子負債	350	325	△ 25
有形固定資産	20,193	19,920	△ 272	固定負債	3,436	3,016	△ 419
無形固定資産	2,329	3,737	1,407	純資産	138,986	156,381	17,394
投資その他資産	14,366	14,667	300				
資産合計	193,030	210,201	17,171	負債・純資産合計	193,030	210,201	17,171
たな卸資産回転月数	4.8ヵ月	6.1ヵ月		自己資本比率	72.0%	74.4%	

【流動資産の増加の理由】

- ・ 部品供給ひっ迫に対応するため、在庫を積み増し + 94億円
(うち製品在庫+22億円、部品在庫+60億円)

8) キャッシュフロー

(単位:百万円)

	前期 2021/3	当期 2022/3	増減額
I 営業CF	13,945	25,699	11,753
II 投資CF	△ 2,946	△ 4,303	△ 1,356
FCF	10,999	21,396	10,396
III 財務CF	△ 3,007	△ 7,300	△ 4,292
換算差額	451	1,643	1,192
増減額	8,442	15,739	7,296
期末残高	44,356	60,095	15,739

	2021/3	2022/3	増減
税金等調整前当期純利益	27,166	34,263	+7,097

	2021/3	2022/3	増減
自己株式の取得による支出	△1	△2,400	△2,399
配当金の支払額	△2,979	△4,842	△1,862

ROE	14.0%	15.9%	
-----	-------	-------	--

9) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円)

	前期 2021/3	当期 2022/3			増減額 (年度比較)	次期計画 2023/3
		期初計画	前回計画※	実績		
設備投資額	3,524	4,100	4,100	3,022	△ 502	5,600
減価償却費	3,236	3,800	3,800	3,422	186	3,700
研究開発費	6,357	6,600	6,100	5,711	△ 645	6,300

※2022/2/2 第3四半期決算発表時の予想数値

●設備投資の実績

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、IT投資、工場生産設備

●2023/3設備投資計画

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備

インド 試薬新工場の建設

総投資額:約11億円

<

2023/3:10億円
2024/3:1億円

着工:2022年秋 完成:2023年春
稼働開始:2024年春予定

PLM/MES※システムの導入

設備投資額:約25億円

<

2023/3:10億円
2024/3~2025/3:15億円

PLM:2024/3下期稼働予定
MES:2025/3稼働予定

※PLM(Product Life-cycle Management):製品ライフサイクル管理、MES(Manufacturing Execution System):製造実行システム。

2

次期業績見通し

1) 経営環境

半導体需給ひっ迫、部品・資源価格高騰、サプライチェーン混乱が長期化
ウクライナ情勢、上海ロックダウンもあり、不透明な状況が続く見込み

国内

新興感染症等に対応できる医療提供体制の構築、集中治療体制の強化

- 2022年4月 診療報酬改定: 本体0.43%増
急性期、集中治療領域における評価項目を新設
- 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金:
2022年9月末まで

医療機能の分化・連携、
地域包括ケアシステムの推進

- 地域医療介護総合確保基金 2022年度1,029億円(医療)

海外

欧米諸国

- 医療のDXが加速
- 医療の質と効率性の向上
- 欧州の一部地域で医療インフラ近代化

中国

- 感染再拡大、ロックダウンの影響を注視

新興国

- 景気回復鈍化の懸念

2) 次期業績見通し

(単位:百万円)

	当期実績 2022/3	次期予想 2023/3	増減率 (%)
売上高	205,129	195,000	△ 4.9
国内売上高	136,321	130,500	△ 4.3
海外売上高	68,807	64,500	△ 6.3
売上総利益 (売上総利益率)	109,085 53.2%	98,200 50.4%	△ 10.0
営業利益 (営業利益率)	30,992 15.1%	16,500 8.5%	△ 46.8
経常利益	34,563	16,500	△ 52.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	23,435	11,000	△ 53.1
海外売上高比率	33.5%	33.1%	

← 為替影響除く: △10%

【地域別海外売上高】

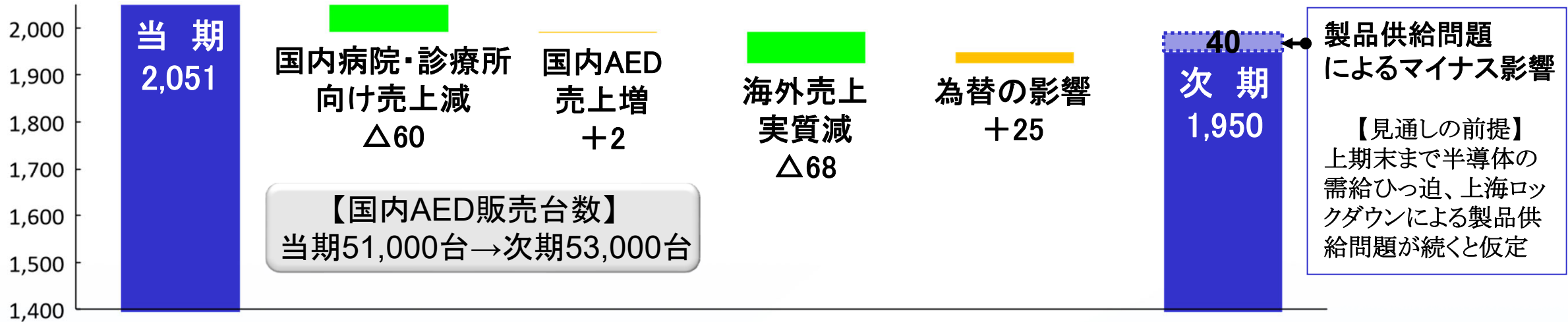
	当期実績 2022/3	次期予想 2023/3	増減率(%)
米州	33,436	34,400	2.9
欧州	11,449	10,100	△ 11.8
アジア州他	23,921	20,000	△ 16.4
海外計	68,807	64,500	△ 6.3

※ロシアおよびウクライナでの売上: 欧州売上高の1割未満、連結売上高の1%未満
中国での売上: アジア州他売上高の3割程度、連結売上高の3%

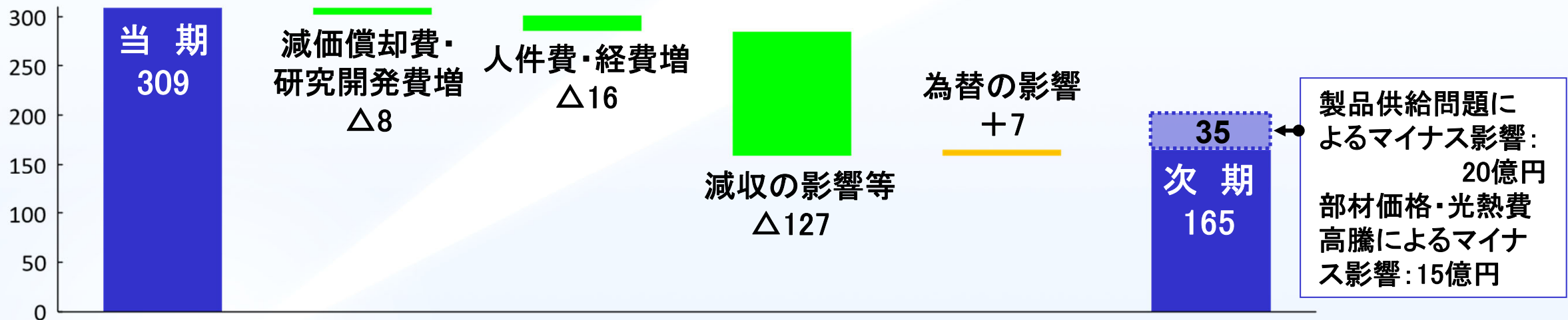
3) 次期業績見通しの要因分析

【売上高】

(単位: 億円)



【営業利益】



[参考]商品群別売上高見通し/為替の影響

(単位:百万円)

	当期実績	次期予想		増減率(%)
	2022/3	2023/3	構成比(%)	
生体計測機器	39,681	41,100	21.1	3.6
生体情報モニタ	84,860	75,900	38.9	△ 10.6
治療機器	43,388	41,000	21.0	△ 5.5
その他	37,198	37,000	19.0	△ 0.5
売上高合計	205,129	195,000	100.0	△ 4.9

(ご参考)

消耗品・サービス	90,576	94,800	48.6	4.7
----------	--------	--------	------	-----

平均レート

	当期実績 2022/3	次期予想 2023/3
1 米ドル	111.3円	117円
1 ユーロ	130.6円	130円

為替感応度の概算値(年間)

	売上高	営業利益
1 米ドル	3.8億円	1.2億円
1 ユーロ	0.6億円	0.2億円



BEACON
2030
Phase III

3

中期経営計画の進捗状況

長期ビジョンと中期経営計画

病魔の克服と健康増進に先端技術で挑戦することにより
世界に貢献すると共に社員の豊かな生活を創造する

経営
理念



illuminating Medicine for Humanity

グローバルな医療課題の解決で、人と医療のより良い未来を創造する

2030年3月期
目標水準

営業利益率 15% 海外売上高比率 45%

長期ビジョン

2027/4-2030/3 **BEACON 2030** Phase III : 長期ビジョンの実現

2024/4-2027/3 **BEACON 2030** Phase II : 成長への投資

2021/4-2024/3 **BEACON 2030** Phase I : 基盤の強化

中期経営計画

グローバル共通価値基準

経営理念・長期ビジョン・中期経営計画の推進に必要な
世界中の社員をつなぐ共通の価値観

Integrity / Humbleness / Diversity / Initiative / Customer Centric / Goal Oriented / Creativity

中期経営計画 基本方針

事業と企業活動を通じてサステナビリティを推進

経営

コンプライアンスの徹底とグループガバナンスの一層の強化により、経営基盤を強化する。

事業

既存事業の収益性を改善することで得た原資により、戦略的な先行投資を実施し、新たな成長への種を蒔く。

組織

グローバルSCMの構築とコーポレートの主要機能の強化により、グローバル成長の礎を築く。

経営

コンプライアンス

- ✓ 調査委員会から提言のあった再発防止策を策定・実施

ガバナンス

- ✓ 「グローバル経営管理ポリシー」を策定、海外子会社へ浸透

経理 人事 法務 情報セキュリティ

事業

収益性の改善

- ✓ 顧客価値の高い自社製品・サービスの投入



血球計数器 MEK-9200 セントラルモニタ CNS-2101 オートショック AED-3250 人工呼吸器 NKV-330

DHS事業の推進

- ✓ AMP3D社を買収

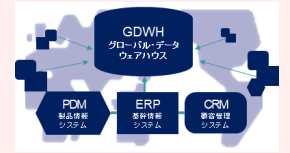


CoMET®
Continuous Monitoring
of Event Trajectories

組織

グローバルSCM

- ✓ グローバル情報基盤を整備
- ✓ PLM/MES※システム導入に着手



コーポレート主要機能

- ✓ 社内ITシステムのサイバーセキュリティ強化

※PLM (Product Life-cycle Management): 製品ライフサイクル管理、MES (Manufacturing Execution System): 製造実行システム。

コンプライアンスの徹底・ グループガバナンスの一層の強化

- ✓ コンプライアンス事案 再発防止策実行管理委員会(調査委員会メンバー含む)を7回開催
- ✓ 調査委員会からの提言内容を全て実施、2023/3期も取り組みを継続

1. ガバナンスの強化

(1) 組織の見直し

- グローバル経営管理本部に「コンプライアンス・法務統括室」を設置(2021年4月)
- 営業本部に「コンプライアンス推進室」を新設(2021年4月)
- 支社支店
 - 管理部門を強化(順次実施)
 - コンプライアンス担当役員との報告ラインを強化(コンプライアンス担当者会議: 2021年11月)

(2) 寄附金検討プロセスの見直し

- ウェブ申請方式を導入、営業部門から独立した審査機関を設置(2021年9月)

(3) 内部統制の強化

- 受注前プロセスにおけるシステム統制(2021年11月)

(4) ディーラーとの相互牽制(2022年1月~)

- 相互に法令遵守を誓約
- 定期的なアンケート
- 社外向け通報窓口の設置

2. 人事評価の見直し

- コンプライアンスの評価項目を設定(上級職:2021年6月/一般社員:10月)

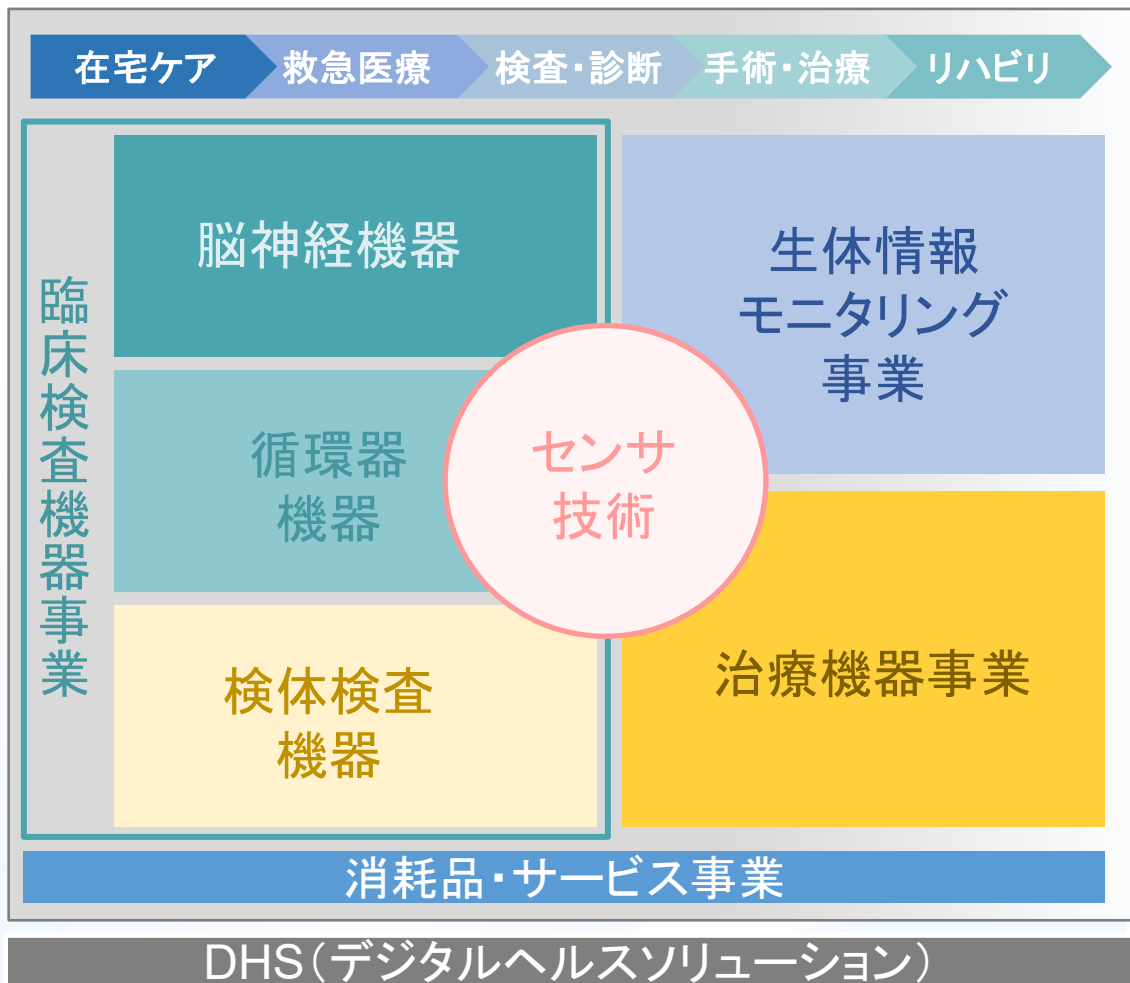
3. コンプライアンス教育の徹底

- 支社支店
 - 管理職向け教育の充実(外部専門家による研修:2021年10月)
 - 具体的・実践的な研修内容の充実(継続実施)

4. モニタリング

- 定期的なコンプライアンス意識調査(2021年2月、2022年2月)
- 内部通報窓口の周知徹底(弁護士ホットライン新設:2022年2月)

既存事業における収益性の改善



全事業共通施策

高い顧客価値の創造

- ・デジタルヘルスの推進
- ・サイバーセキュリティ対応
- ・医療機器リモート監視システム (MD Linkage) の拡充

生産性の向上

- ・新たな共通設計プラットフォームの構築
- ・標準化・共通化の推進
- ・ライフサイクルマネジメントの徹底

タイムリーな製品投入

- ・世界最高品質の追求
- ・開発体制、QA/RA体制の強化

高収益体質の実現

生体情報モニタリング事業

✓ 製品ラインアップの拡充、機能強化による顧客価値提案の推進

一般病棟

ICU

手術室

院内・院外



ViTrac



NEW!
2021年度
国内発売



セントラルモニタ
CNS-2101

新生児蘇生モニタ
2022年度発売予定

医用テレメータ
2022年度新機種追加予定



CSM-1501



CSM-1502



CSM-1701



CSM-1702



CSM-1901



BSM-1700

ロボット麻酔システム
承認申請中
バイタルデータを活用し、
麻酔薬の投与を自動調節

ハイ
エンド

ミドル
レンジ

ロー
エンド

消耗品・サービス事業

消耗品

- ✓ 需要増加が見込まれる消耗品の生産拡大、コストダウンを推進

AED用使い捨てパッド

2017年度
富岡第二工場での
増産、自動化



SpO₂プローブ

2018年度
富岡第二工場での
自動化生産に着手



2023/3期の取り組み

SpO₂プローブ

- ✓ 自動化生産ラインの
増設準備 富岡第二工場



筋弛緩モニタリング専用筋電図電極

医療安全のため、手術時の
筋弛緩モニタリングの需要が増加

- ✓ 生産ラインの増設
- ✓ 日本・米国市場向けに自動化
生産に着手 川本生産センター



筋弛緩 EMG電極
NM-34シリーズ

消耗品・サービス事業

サービス

✓ 医療機器リモート監視システム
への接続機種を拡充



血球計数器 でサービス 開始

2018年度国内



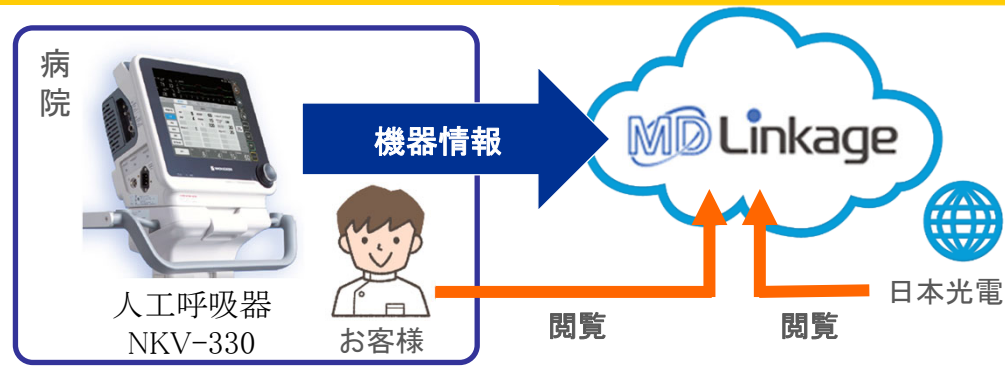
接続機種: 5機種
接続台数: 約1,700台

NEW!

人工呼吸器と連携開始

2022年度国内

- 業務効率
日常の点検結果をクラウドに自動送信し、
点検業務をサポート
- 医療安全
病室等での動作状況を遠隔で確認可能



2023/3期の取り組み

- ✓ 接続機種の
拡充を検討
- ✓ 新興国で
血球計数器と
の接続テスト
を実施

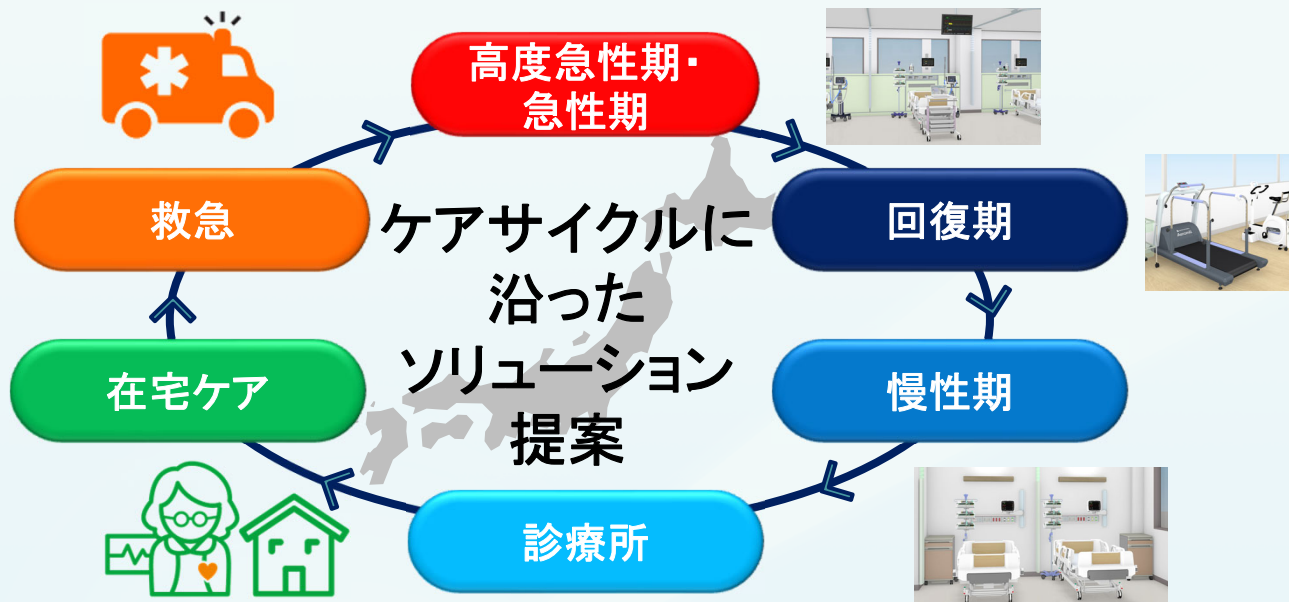
グローバル事業における戦略強化

日本：医療の質向上、医療課題の解決に向けたソリューション提案を強化

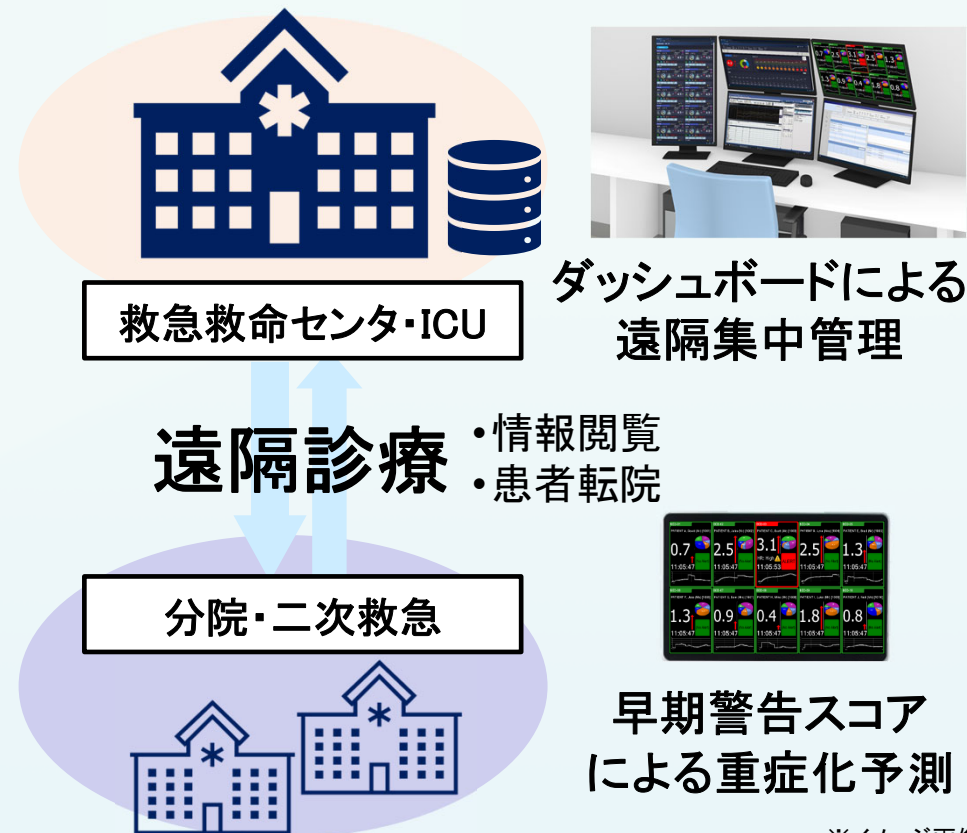
✓ 顧客価値提案の強化

医療安全 診療実績 業務効率 につながる

提案営業力の強化、サービスの拡充



✓ 遠隔ICU構想の検証開始



※イメージ画像

米国：子会社7社の統合と融合による米国事業のさらなる成長

✓ 製品ラインアップの拡充



✓ 新製品・消耗品・サービスの付加価値提案を強化

NEW!

中位機種
ベッドサイドモニタ
2022年度発売



ベッドサイドモニタ CSM-1500シリーズ

サイバーセキュリティ
対策を強化

NEW!

筋弛緩モニタリング
専用筋電図電極
2021年度発売

NEW!

NK NETWORK CARE
セキュリティ脅威をモニタリング
2021年度発売

人工呼吸器



NKV-330
現地生産
2022年度発売予定

救急蘇生機器

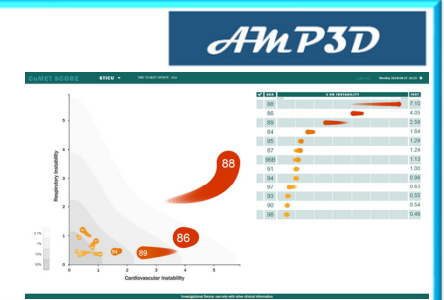


次世代自動心臓
マッサージ装置
2022年度発売予定

DHS(デジタルヘルスソリューション)

CoMET®: Continuous Monitoring of Event Trajectories
患者容態管理のためのアルゴリズム・ソフトウェア

新生児向けの呼吸管理指標を追加



新興国：日本・米国製、上海製の新製品の提案を強化

日本・米国製品

ハイエンド市場

救急

除細動器



EMS-1052

ICU

ベッドサイドモニタ



CSM-1500/1700シリーズ

人工呼吸器



NKV-330

ベッドサイドモニタ



PVM-4000

人工呼吸器



NKV-550

血球計数器



MEK-9200
2021年度発売

NEW!

上海製品

ミドル&ローエンド市場

現地開発・生産

心電計



ECG-3150/3350

心電計

2022年度
発売予定

スポットチェック
モニタ



SVM-7100

ベッドサイド
モニタ



SVM-7500

中国市場向け現地開発

NEW!

検体自動搬送システム



白血球5分類とCRP※1を測定
2021年度発売

中国市場向け現地生産

除細動器



TEC-5600

AED



AED-3100

ベッドサイド
モニタ



BSM-3000
2021年度発売

NEW!

血球計数器



MEK-9100
2021年度発売

NEW!

インド試薬生産の拡大

検体検査装置の
設置台数が拡大



血球計数器
MEK-9100



ESR※2測定付き
血球計数器
MEK-1305

試薬新工場を設立

総投資額：約11億円

床面積：現工場の約4倍(予定)

2022年度

・新工場の着工

2023年度

・生産設備の設置

2024年度

・本格稼働

※1 CRP(C-Reactive Protein)：C反応性蛋白。 ※2 ESR(Erythrocyte Sedimentation Rate)：赤血球沈降速度。



サステナビリティの推進



2022/3期 アドバイザリーボード設置

2023/3期

(環境)

- ✓ 脱炭素社会の実現に向けて
 - CO₂排出量のSBT※¹設定を推進
 - 環境配慮型製品の開発を推進

- ✓ TCFDに基づく気候変動に関する情報開示を予定

※ TCFD (Task Force on Climate-related Financial Disclosure) : 気候関連財務情報開示タスクフォース。

(品質)

- ✓ 品質向上に向けて、NPS※²を導入

- ✓ NPSの調査結果を分析し、施策検討

(人権・人財)

- ✓ 人権デューデリジェンスに着手
- ✓ 従業員満足度調査を実施
- ✓ 役割型人事制度の導入

- ✓ 人権リスク評価、人権課題の特定を予定
- ✓ 従業員満足度調査結果を踏まえ、さらなる向上に向けた取り組みを推進
- ✓ 役割型人事制度の浸透

※¹ SBT (Science Based Target) : パリ協定が求める水準と整合した、5年～15年先を目標年として企業が設定する、温室効果ガス排出削減目標。

※² NPS (Net Promoter Score) : 製品・サービスへの愛着度を示す顧客ロイヤルティを測る指標。

マテリアリティKPIの実績は、8月末発行予定の統合報告書、ウェブサイトに掲載予定

経営目標値(2024年3月期)

売上高	1,970億円
国内売上高	1,340億円
海外売上高 (海外売上高比率)	630億円 (32.0%)
消耗品・サービス売上高比率	48%以上
売上総利益率	50%以上
営業利益 (営業利益率)	200億円 (10.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	138億円
ROE	10%

地域別海外売上高

米州	320億円
欧州	100億円
アジア州他	210億円

3カ年計画

研究開発投資	200億円程度
設備投資	140億円程度

想定レート: 1米ドル=102円、1ユーロ=124円

利益配分の基本方針

利益配分の優先順位は、①将来の企業成長に向けた投資、②配当、③自己株式取得

将来の企業成長
に向けた投資

- ・ デジタルヘルスソリューションを新規事業と位置付けて積極投資
- ・ コーポレートDX推進、グローバルSCM構築のための設備投資

研究
開発



設備
投資



M&A
提携



人財
育成



配当

長期安定配当を
継続

目標:連結配当性向
30%以上

自己株式取得

今後の事業展開、投資計画、内部留保の水準、株価の推移等を総合的に考慮し、機動的に検討

22/3期

年間配当金: 67円(70周年記念配当13円/特別配当15円を含む) (配当性向:24.2%)
自己株式取得: 10億円(上限) 5/16~6/30

(総還元性向:32.2%)(予定)

23/3期
(予想)

年間配当金:
40円
(配当性向:30.7%)

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

また、この資料に含まれている製品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告を目的としているものではありません。

【担当部署】 経営戦略統括部

【連絡先】 TEL03-5996-8003